

婚礼としての終末

シリーズ～終末を生きる～

2018/1/21

先週までのお話

- 聖書に記されているこの世界の終わり(終末)
 - この世界を創造された神がこの世界を終わらせる
 - その時期は神以外誰にも分からない
- 終末の徴(しるし)は確実に起こっている
 - 戦争・自然災害・民族対立など
 - 福音が全世界に宣べ伝えられなければならない
- 終末は創造時の姿への回復である
 - 終末はすべてが破壊され尽くされないための神の恵みである

科学者による警告

□ “世界終末時計”

- アメリカの科学誌『原子力科学者会報』(Bulletin of the Atomic Scientists) が1947年から人類滅亡の危険性に応じて「時刻」の修正を行っている

□ 2017年1月に、残り**2分半**となった!

- トランプ大統領の、核廃絶や気候変動対策に対して消極的な発言によって30秒進んだ!



終末の重要な出来事

□ キリストの妻としての教会

- 「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。」エフェソ5:25

□ 夫(キリスト)を待ち望む妻(教会)

- 花婿を待ち望むたとえ話
- 終末までは“**妻が単身赴任?**”状態

□ 終末におけるキリストと教会との婚礼

- 「わたしたちは喜び、大いに喜び、神の栄光をたたえよう。小羊(キリスト)の婚礼の日が来て、花嫁(教会)は用意を整えた。」黙示録19:7

“結婚”が教えている真理

- 神は人間を結婚する生き物として想像された
 - 「神にかたどって創造された。男と女に創造された。」創世記1:27
 - 結婚によって増え広がり、生き残ってゆける
- 神が人に望む関係は「愛し合う」関係である
 - 争いがないだけではなく、親密であり、深くかわり合う関係である
- 結婚は“愛すること”を学ぶ最高の学校である
 - 互いの良いところも悪いところも知り尽くして、なお愛し続けなければならない(本来、嫌いになっても破棄することは許されない!)

イエス・キリストが示された見本

□弟子たちとの親密な関係

- 単に教えを語られた(先生と生徒)ではなく、共に旅をし、寝食を共にされた(師と弟子)

□「罪人」たちとの親密な関係

- 「罪人」と呼ばれて差別されていた人々とも、積極的に食事をされた

□弟子たちに裏切られた

- イスカリオテ・ユダに売られ、一番弟子ペトロには“知らない”と3度言われた

□それでも彼らを赦し、教会(キリストの弟子たちの群れ)をゆだねられた

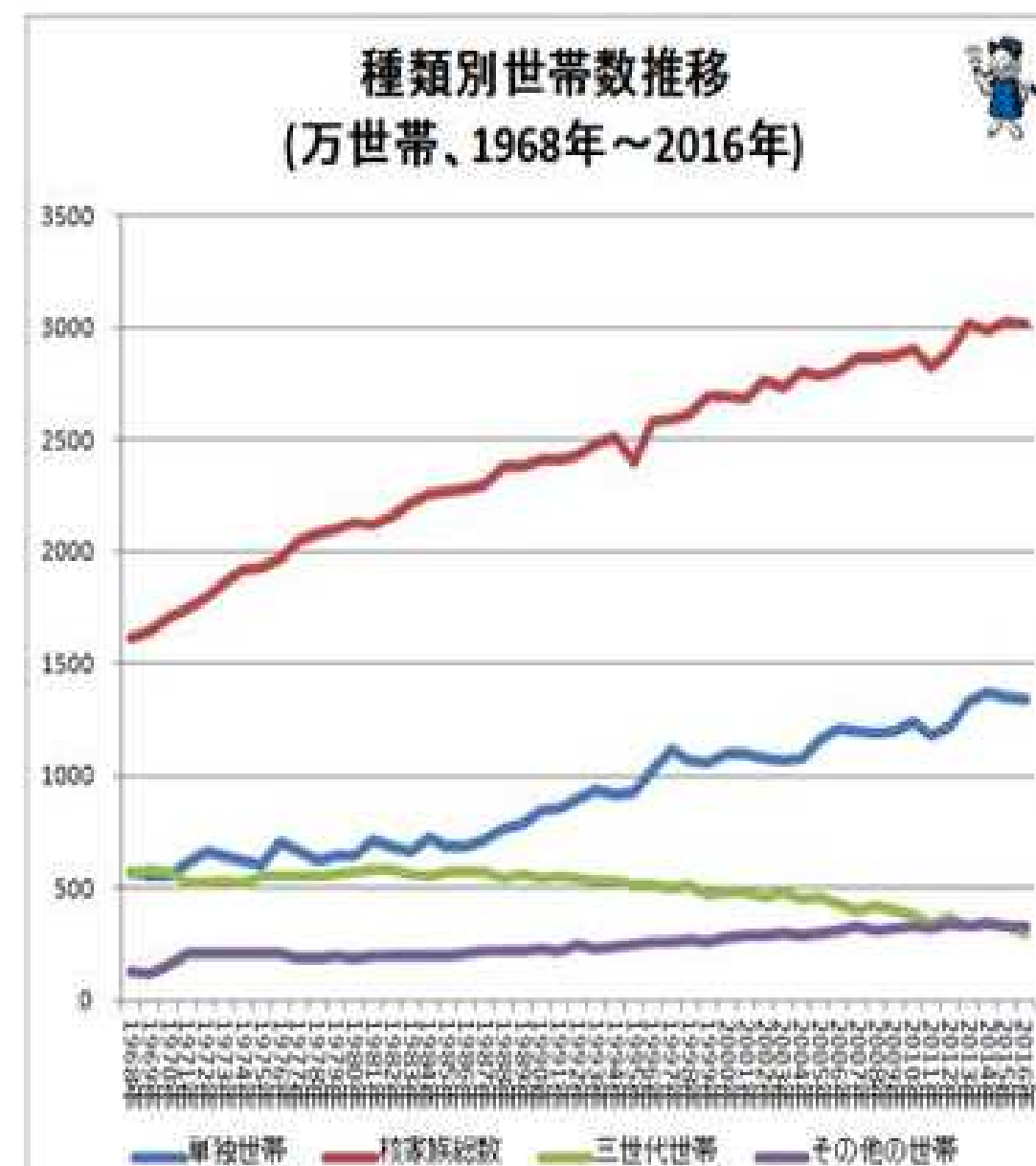
現代社会の人間関係

□ SNSなどによるバーチャルな関係

- 人と関わることは求めているけれども
- 嫌になれば簡単に断ち切れる関係
- しかしスマホが手放せない!

□ 結婚関係の衰退

- 結婚数の減少・離婚数の増加
- “単身世帯”の増加
 - 全国1/3、東京都1/2
- 人口減少



“親密な関係”を

- 親密に関わらなくても生きていけるが…
 - スマホがあれば何でも手に入る
- “結婚関係”は神が望まれる関係のモデル
 - めんどくさくて困難だからこそ育まれる関係
- 教会に与えられている使命
 - 「キリストにより、体(教会)全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり組み合わされ、結び合わされて…」エフェソ4:16
- 村田さんの教え
 - 平和とは争いがないだけではなく“**仲が良い**”こと